

17-404 「伴走型支援の進め方」 ～地元企業から必要とされる支援活動の実践ノウハウ～

【研修のねらい】

日本の産業発展を支える小規模企業に対する支援のあり方が注目される中、国の小規模企業支援に関する法律改正が行われ、支援機関に求められる役割や専門性がこれまで以上に高まっています。

本研修では、これからの支援機関に求められる伴走型支援のあり方について学んでいただくとともに、先進的な取り組みを行っている事例紹介を交えながら、今後の小規模企業支援への取り組み方を具体的に検討していただきます。

【時 限 表】

月日	時間	科目	内 容	講師（敬称略）
11月20日 (月曜)	9:10～9:30	開講式・オリエンテーション		
	9:30～12:40	小規模企業支援の基本と実践	<p>小規模企業を取り巻く経営環境や共通する経営課題を再確認した上で、支援機関が伴走型支援を実践していくための手順やポイントについて、販路開拓や顧客管理などの観点から事例を交えて具体的に学んでいただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模企業を取り巻く環境と支援機関の役割 ・伴走型支援の流れと実践ステップ ・販路開拓支援の手順と実践ポイント ・顧客管理支援への取り組み方 ・支援体制の構築方法 	株式会社 流通プランニング研究所 代表取締役 川上 正人
	13:40～17:30		<p>小規模企業支援で最も重要な経営分析の手法と、事業計画策定の根拠となる企業の「強み」と「経営課題」の導き方について、ケース演習を交えながら学んでいただきます。</p>	
11月21日 (火曜)	9:00～12:40	支援能力の強化策 (演習)	<p>〔ケース演習〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・的確な経営分析と事業計画策定の進め方 ・顧客や市場ニーズの読み方 ・支援企業の強みと経営課題の見つけ方 ・長期的なフォローアップへの取り組み方 	
	13:40～17:30		<p>〔自社演習〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの支援活動のふり返り ・所属機関の抱える課題と対応策 ・今後の行動計画の立案 	
11月22日 (水曜)	9:00～12:40			
	13:40～16:30	先進事例に学ぶ 伴走型支援の 実践ノウハウ	<p>伴走型支援を実践し、高い成果を上げている支援機関の経営指導員の体験談から、今後の新しい支援活動のヒント・気づきを得ていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴走型支援の実際 ・失敗・成功体験とその要因 ・今までの支援との違いで実感したこと ・伴走型支援で直面した課題と解決策 ・質疑応答 	<p>【前掲】 川上 正人</p> <p>高知商工会議所 (予定・調整中)</p>
	16:30～16:40	終講式		

※初日の講義終了後、受講者交流会（18：00～19：00）を予定しています。

※カリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合がございますので、予めご了承ください。

【講師紹介】 川上 正人（かわかみ まさと） 株式会社流通プランニング研究所 代表取締役

広島県中小企業団体中央会、青山監査法人での勤務を経て、1993年に中小企業診断士事務所を開業。その後、販路開拓支援に特化した、株式会社流通プランニング研究所を設立、代表取締役に就任。2008年には販路開拓支援手法の確立を目的に、特定非営利活動法人中小企業販路開拓支援協議会を設立、代表理事に就任。全国各地に幅広い販路開拓ネットワークを持っている。

全国各地でセミナー講師として活躍するほか、中小企業大学校各校で「販路開拓」「経営革新」のテーマに研修を担当している。